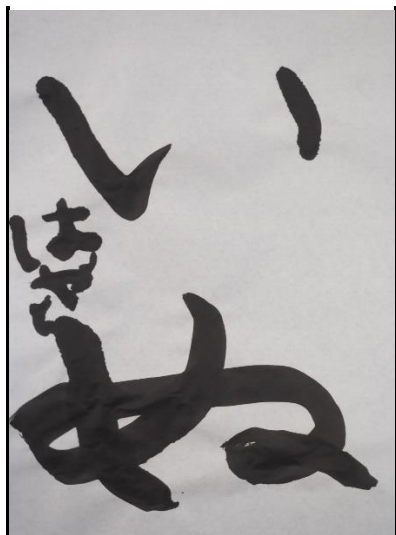


評 藤波礼子

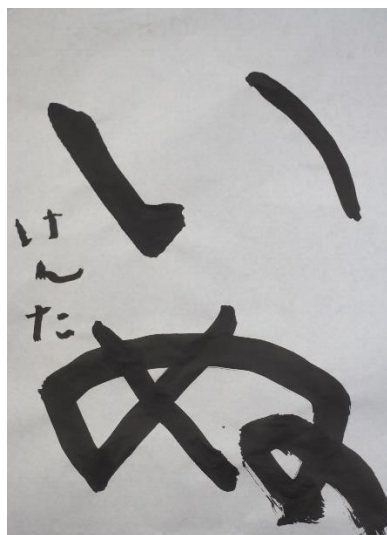


1年 H・H

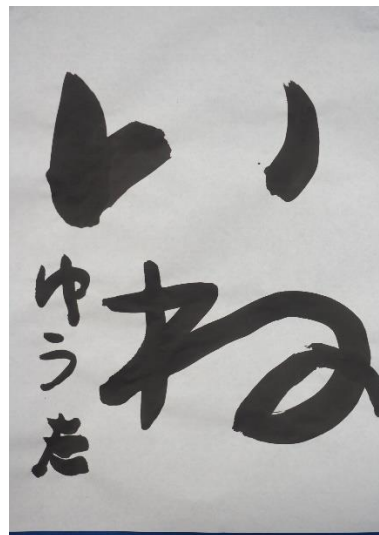
Yくん 力強く伸び伸びと書けましたね。「ぬ」の曲がりも筆を立てて上手に書けましたね。

Kくん 大きな気分で、紙いっぱいに堂々と書けました。どっしりとし、勢いもある作品です。

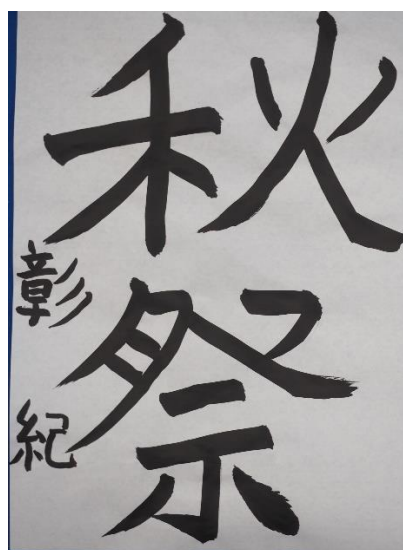
Hくん 「い」の字の線やはねが美しいです。「ぬ」の線がよい。二画目は斜め上に大きくまわそう。



1年 Y・K



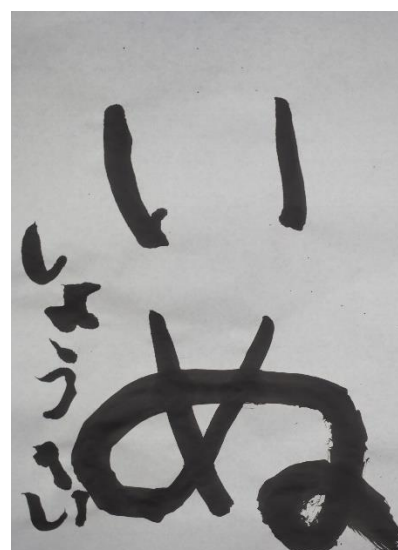
年長 T・Y



4年 H・A

Sくん 中心が通り、落ち着いた作品です。特に「ぬ」を力強く書けました。

Aくん 画数が多い文字を、お手本をよく見て、筆を立てて、集中して書くことが出来ました。



1年 K空厚・米島千本.MP

3

和歌の作り方

和歌を作る練習方法として、「いつ、ど

こで、何が、どうして、どうなった」と

自分の感じを入れてまとめてみます。例

えば、その時の事情を思い出して次のよ

うにまとめてみるのです。

○「誰と、どこへ行ったら、何が、

どうなって、どう思った」

○「どこで、何をしていたら、何が、

どうなって、どう思った」

○「誰と、誰が、何をして、どうなった

ので、どう思った」

などのように、気づいたままの事を断片

的でよいから書いておいて、どう書いた

ら自分の気持ちがよく分かるかを、言葉

の順序を入れ換えてみたり、声に出して

読んでみたり、友達に聞いてもらったり

して、自分の気持ちや言葉のいが分かる

かどうかを確かめます。

「真実の姿を見る目を深め、自分の気持

ちにピッタリの言葉を探す」のが和歌の道です。
(「大和歌」より)